

第廿四回

京阪神三市聯合保育會

一、時日 大正六年六月十日 自午前九時三十分
至午後四時二十分

一、場所 京都市公會堂

一、順序

一、一同着席 敬禮

一、唱歌 君が代

一、京都市保育會長開會の辭

一、京都市知事祝辭

一、報告

1 園兒心身發達の正常標準調査の件（三市

役員會）

一、議題

1 公立幼稚園及保母にして幼兒の衛生上特に
顧慮すべき疾病に罹り休職又は退職を命ぜら
れたる者に疾病治療料を市町村立小學校訓導
と同様に給せられんことを其筋に建議しては

如何、大阪保育會提出

一、大阪建議者の建議の動機説明

一、神戸杉野氏贊成演説

小學校と幼稚園とは略相似たるものなれば
小學校訓導に與へらるる特權は之を幼稚園
保母にも與へて速かに待遇せられん事望ま
し云云

一、神戸高橋氏反對演説

小學校教育は公務なり、幼稚園は全々之と
異り家庭保育の一部に屬すべきものにして
保母は家庭の母と同位置に在るべきものな
り而して母の疾病に就ては何等それ等の事
在る無し獨り保母に其要あらんや云云

一、京都市中野氏贊成演説

幼稚園が小學校令中に記載せられたるを見
れば幼稚園は國民教育の一部と認めらるる
ものなり、故にこの問題に就ては贊成の意
を表して可なるべし云云

この議題は可決せられ次第を以て其筋に建議の筈なり

2 園児の成績品を保育に如何に利用すべきか

其良法を承りたし(京都市保育會提出)

一、大阪市保育會四方氏

一、個々の物を集めて大なる統一を作るこ

と、例へば自然物の草花等を蒐集して箱

庭を作る之によりて個人と團體全體と部

分との關係を知らしめ得

二、幼稚園及家庭に於ける家庭の玩弄用と

す

例カブトを摺みて之をかぶり又もてあそ

ぶ

三、實用的方面にては葎、菓子等を作り之

を與ふ、其實用を知らしむ

四、幼稚園又は家庭に於て他人に示し又與

ふ、幼兒相互間或は母姉弟妹に與へ又見

しめて好意親愛の情を養成せしむ

五、裝飾用として

壁、天井、黒板、樂器等に貼す

六、展覽會を開きて陳列す、

保育終了期或は記念日等に於てす

自己の力を知り活動を促す、

七、紀念物として保存す、

家庭或は幼稚園に(愛園心養成せらる)

一、京都市姫宮氏

一、貼紙を利用して出席表を作らしむ、缺

席せし時は貼り得ざるため勤勉努力の精

神を養ふ一端となる、

二、保姆としては幼兒の個性を觀察し得

三、守札を作り玩具中に混じて幼兒に貸與

する時は遊戯中に自然的に文字をよみ又

書く事を得るに至る、

一、京都市司馬氏

一、繪畫に就て幼兒の嗜好に就て

二、講演

演題「歐洲に於ける幼稚園の現在及將來」

京都帝國大學文科大學助教 野上俊夫氏

歐洲の幼稚園は大別して二種となる

一、乳兒預り所 二歳半より三歳

二、幼兒預り所 三歳より六歳

乳兒預り處は巴里の如きは一市にして凡そ其數百あり、其完備したるものの設備には寢臺數十餘あり、襦袢の替へ方より、沐浴食事醫療牛乳の作り方を母に教ふる等の事迄も行はる、要するに都市工業の勃興に伴ひて起りたるものなり、

幼兒預り處は日本にて云ふ所の幼稚園にして、フレーベルによりて創められたりと稱せらるるものなり、(略)

而して幼稚園事業の最も盛なるはベルヂウムにして、其他フランス、イタリヤ、スイス、ドイツ等の幼稚園數、園兒の數等に就て(省略)

日本に於けるものは多くは公立のものなれども

歐洲に於ては私立のもの多し、中に就て白耳義佛蘭西、英利西等は公立のもの多く獨逸スイデンには私立のもの多し、

保姆の養成機關に就て日本には大略無しと云ひ得可なれども歐洲は各國多くは在り

滿十七歳程の女子が國家の檢定によりて保姆となるもの獨逸に於ては十六歳程の女子を收容して一年或は二年養成す、又保姆の助手の如きものを養成するもあり

保育の實際に就て乳兒預り處に於けるものは家庭と殆んど同様の事をなす、食物沐浴の事より午睡、遊戯の事迄、幼兒預り所は日本今日の幼稚園に於けると大差なし、國によりては讀方書方を授くるあり、佛國の如きは極端にむづかしき事を授く、例へば *have* と *has* の使用法の如き或は佛國には如何なる川があるか。セーヌ川畔には如何なる都邑あるか、又は地球の自轉と公轉とによりて晝夜四季の區別を生ずる如き事

迄。

獨逸に於ては絶對に教ふる事をなさず、日本に於けると同様なり

日本の幼稚園の實際は西洋のもの平均に比して決して遜色なし、但し歐洲には歴史あり、又保姆養成機關等も在るを以て例外に模範的のものあり、歐洲に於ける幼稚園の將來を想像するに、要するに未だ研究の時期に在り。大體に於て歐洲列國の幼稚園に就ての學者の一致點は「フレーベルに歸れ」にあるべし、即子供の立場より出發し保姆は室の一隅に在りて傍觀者の態度を採り子供の自發活動を尊重すること即子供中心主義に在るなり、而して子供は自然に接するを其性質として喜ぶものなるを以てここに注意し。又恩物に就てはそれ自身尊きものならずこれを用ゐる法の如何によりて尊きものなること、其他實際に幼児に接する保姆と學者とが一致して其れ／＼研究すべきこと、

休憩 (畫食)

一、遊戯交換

1 貝拾ひ 2 岡崎公園 京都市保育會提出

1 兎 2 鳩 3 猫と鼠 大阪保育會提出

1 子供遊び 2 竹藪 3 お米 神戸保育會提出

二、研究報告

一、京都市森谷氏

京都市に於ける溫度と濕度と體重との關係

一、神戸市望月氏

神戸市に於ける溫度と濕度と體重との關係

一、大阪竹村氏

身長、體重、胸圍の増進率調査につきて

三、十分間談話

一、大阪市小山氏

「婦人と子供」掲載の「七不思議」に就ての所感

一、神戸市中尾氏

幼児の衛生に關して

百日咳 勿論百日間は休園せしめ全快後醫師の證明書持参に非ざれば登園を許可せず

トラホーム 入園せしめ中途にて罹りし者は治療せしめ全快後登園せしむ

麻疹 痘瘡 全快後一週間を経過して入浴せしめ登園せしむ

この外に笠原博士と望月氏との對話にありて女兒の便の拭ひ方、入浴時の注意

手を洗ふ事を勵行せしむること

爪を剪る事 毛じらみの注意 卷尺に就て有

益なる談話ありたり

一、京都市清水氏

戦後の幼児保育に就て時間の不十分なりしため意をつくされ得ず

四、議題

1 個性に順應したる保育の最適なる方法を承

りたし

神戸市保育會提出

一、小久保氏

觀察法

1 保母の調査(知育方面、德育方面、體育…)
2 家庭より材料を仰ぐ(日々の行爲又は境遇等を見る)

取扱法

1 一般的保育(室内に一同を集めて)
2 個人的保育(個性によりて行ふ)

一、神戸市中尾氏

郊外にて保育を行ふ時は幼児の個性を十分に觀察し得

保母の修養の必要なること

一、京都清水氏

時間の不十分なりしたため意をつくし得ず

2 幼児の神経系統養護上保母の採るべき實驗方

法を承りたし

大阪市保育會提出

一、神戸市日野氏

積極的方面より運動神経及感覺神経を發達せしむること

消極的方面よりは疲勞の恢復を期すべき事に

就て

一、大阪府膳氏

1 戸外保育に重きを置き筋肉の發達を計ること

2 自然に接して自然を學習し、自然物を玩弄せしむる方法を採ること

3 騒しき周圍を避け心地よき境遇中無邪氣に思ふままに活動せしむること

4 女らしき事にのみ傾かず随分と思ひ切りたる遊戯も奨勵してやること

5 室内は採光通氣に注意し酸素の供給を出來得る限り十分にすること

6 繪本類の觀察を制限し又過度に神經を興奮せしむる如き談話遊戯を嚴禁すること

7 幼兒の自然的睡眠時間を少しも減縮する事なく十分睡眠時間を與ふること、家庭にも

注意す

神戸保育會長閉會の辭

(をばり)

第二十四回京坂神聯合保育會
提出遊嬉ノ歌曲 (大正六年六月)

遊 嬉

○竹 藪

竹				藪			
ニ 調		ニ 拍		子		子	
3 3 5 5	6 6 5 6	i i 7 6	5 . 0	i i 7 6	5 . 0	ナ	—
タ — カ イ	オ — キ イ	マ ツ ス ケ	ナ	マ ツ ス ケ	ナ	ナ	—
6 6 i i	5 5 3 3	5 5 3 1	2 . 0	5 5 3 1	2 . 0	—	—
タ — ケ ガ	イ ツ パ イ	ハ エ テ イ	—	ハ エ テ イ	—	ル	i . 0
(1 1 2 3	5 5 3 5	6 6 5 5	—	6 6 5 5	—	—	—
ス ヲ メ ハ	ト — サ ン	カ — サ ン	—	カ — サ ン	—	ヤ	—
i i 7 6	5 5 3 5	6 5 3 2	1 0	6 5 3 2	1 0	—	—
ニ イ サ ン	ネ — サ ン	ア カ チ ャ ン	—	ア カ チ ャ ン	—	ト	—

(一) 高い大きい
まつすぐな
竹が一ぱい
はえて居る
雀は父さん
母さんやに
いさんねー
さん赤ちや
んと

(二) 毎日こゝに
とまつてち
ゆうくち
うゆとない

てゐる竹は雀と仲よしでよそに行くなといひま